

おいしいご飯 楽しい食堂



子どもたちの食育の推進と地域コミュニティの場の創出を目的として、11月30日(土)に町福祉センターでボランティアグループ「結」が主催する「つばめ食堂」が開催されました。牛丼やサラダなど栄養バランスが考えられた献立が30人分用意され、子どもたちに振る舞われました。「つばめ食堂」は町内事業者などからの支援により実現し、提供される食材などから献立を考えています。

ご飯を食べた後は児童館で遊んでいくこともでき、子どもたちの交流の場となることが期待され、また、子どもだけでなく、保護者同士で情報交換や相談ができる場にもなっています。月1回の開催を予定し、次の開催は1月18日(土)を予定しています。(詳細は情報ボックスに掲載しています)

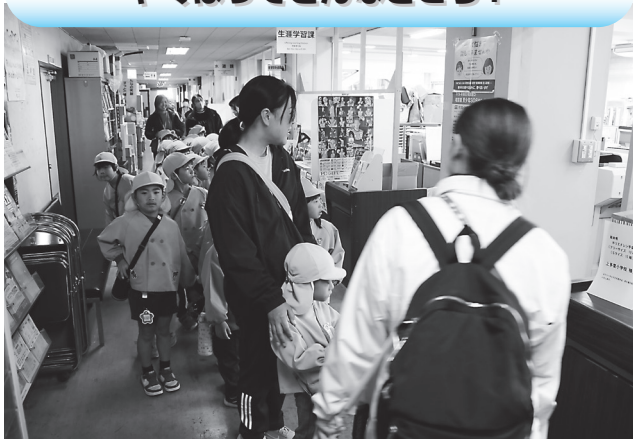
親孝行と思いやりの精神を子どもたちへ



12月4日(水)に養老孝子源丞内の会より、同会が発行する「養老孝子物語」を約1,500部寄贈していただきました。今回は養老町制施行70周年を記念して発行し、町のイメージキャラクター「スマイルげんちゃん」のモチーフである源丞内について広く知ってもらいたいとの思いから、町内小学生全児童と中学校図書館、町図書館、町内各公民館へ寄贈されます。

西協義照会長は「養老町の子どもたちが孝子源丞内の“思いやりの気持ち”や“親孝行”について考え、その一助となることを願って寄贈しました。この物語を広く知ってもらい、日々の感謝を忘れない人づくりに役立てていきたいです」と話しました。

やくばってどんなところ？



11月28日(木)に養老こども園の5歳児が町役場を見学し、町の組織や行っている仕事について学びました。園児たちは町役場庁舎を1階から4階まで見て回り、働いている職員の様子を見学するとともに、どういった人がお客さんとしてくるのか、どういった仕事をしているところなのか、といった質問をするなど町行政に興味津々の様子でした。また働いている職員に対して感謝や労いの言葉をかけ、今後も町のために一生懸命働いていこう、激励してくれました。

また、園児たちから感謝の気持ちとして令和7年のカレンダーが贈られましたので、町役場に掲示して利用させていただきます。

希望あふれる若者たちへ



進路選択を含めたキャリア教育推進の一環として、町に縁のある事業所で働いている人が講師となり、仕事の内容や生き方について実践を交えて語る職業体験講座が高田中学校と東部中学校において開催されました。生徒たちは、様々な業種で活躍している「その道のプロ」から確かな職業観を学び、養老町の“人”や“産業”が持つ力を感じました。

両校の生徒たちは講座をとおして、興味・関心のある職種だけでなく今まで知らなかった職種にも講師の話を聴いたり、実際に体験して触れることで、この先生きていくうえで大切なことについてそれぞれが考え、将来への糧としました。